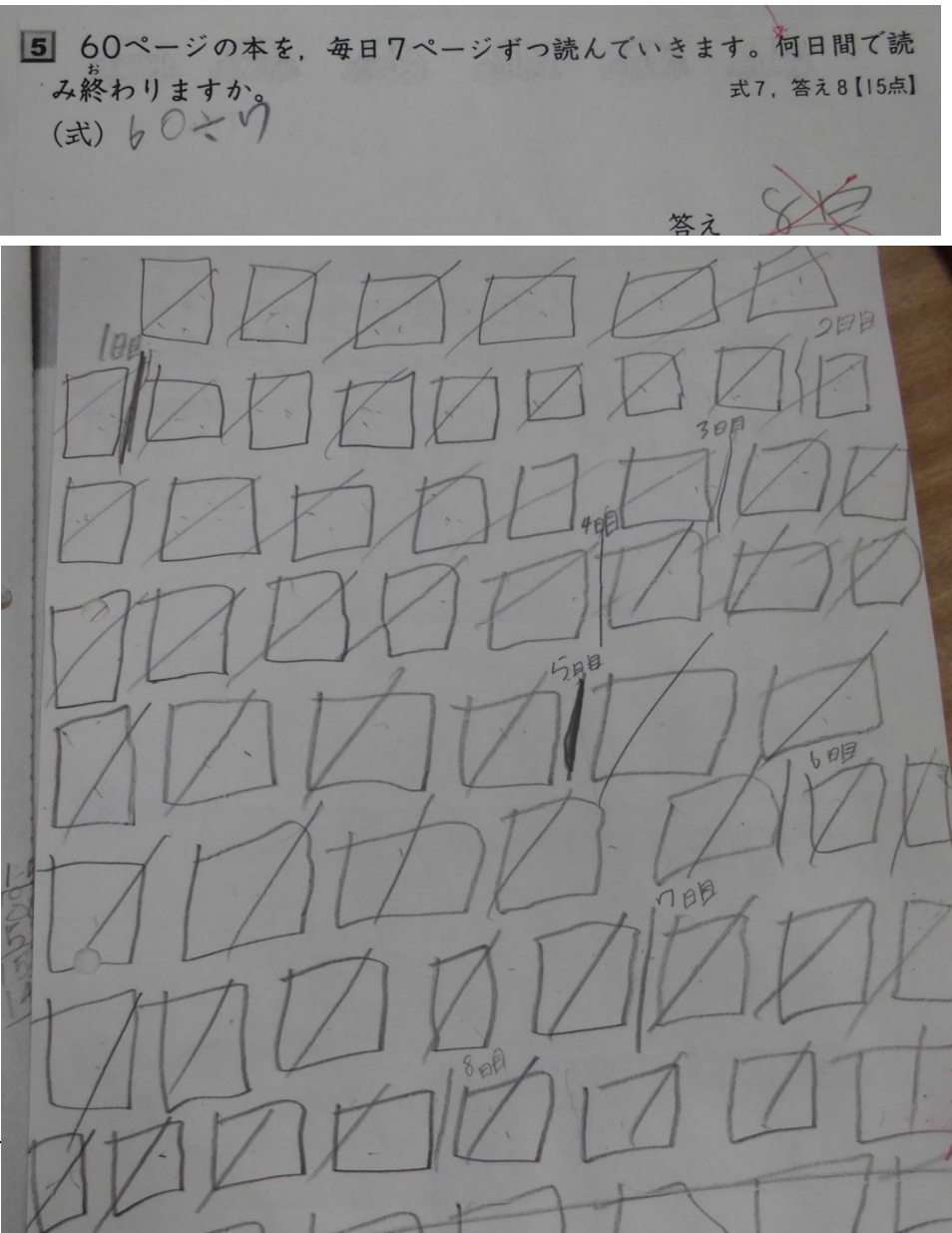


授業の手法 「自分で気付き・考え・主体的に答えを導き出すための方法」

所属部署 小学部

- 1 対象となる幼児児童生徒  
一般学級在籍児童（肢体不自由、一般）
- 2 教材を使用する活動  
タイル、紙、鉛筆
- 3 ねらい

教師が一方向的に教えたり伝えたりすると、子どもは受け身的になる。その場限りの曖昧な理解になりやすく、深い理解につながらない事が多い。時間と手間はかかるが、本人自身が具体物を操作したり、問題文に書かれている内容を絵で表したり、問題を解く過程を文章に記述したりして、自分で気付き、考え、問題を解決するきっかけを作るようにしている。やり方を教えてしまえば簡単なのだが、本人と何度も対話を繰り返しながら、できる限り本人に気付かせるように様々なきっかけを与えている。試行錯誤して自身が気づいた法則や解き方については、長く記憶に残りやすいようである。

教材の使い方	配慮点
	<p>計算式と筆算の計算は当たっているのだが、『何日間』と問われた時には答えを間違えている。</p> <p>どうして間違えてしまったのか、意味が分からない様子だったので、一言『問題文の状況を絵に表してごらん』と伝えた。</p> <p>60 ページを描いて7 ページ消したらそこで印をつけて“1日目”“2日目”…と、自分で描いて行った。すると、8日目が過ぎてもまだ4 ページ残っている事に気づく事ができた。</p> <p>最後に、どうして9日間になるのかを、自分の言葉で書いて説明し、答えの求め方を再</p>

確認させている。

8日

9日

$$\begin{array}{r} 17560 \\ \text{ら} \\ \hline 4 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 85 \\ \hline 7 \overline{) 60.0} \\ \text{ら} \\ \hline 40 \\ \text{ら} \\ \hline 75 \\ \hline 5 \end{array}$$

1日7ページ読んで3日は8日間と  
あと4ページの3日いるから4は7よりも少な  
いから1日を詰めると8に1たして9だから  
読み終ったのは9日間を求めた

【別の実践事例】

①

8日

5箱のせん 48  
いのおだ

$$\begin{array}{r} 853 \\ \text{ら} \\ \hline 48 \end{array}$$

せんべいを5箱買った時の  
せんべいの数はおだん  
の数を182 ⇒ 1箱

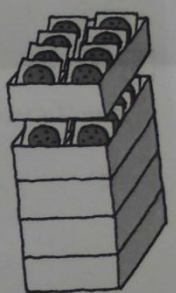
いくつ分

⑩ 1まい105円のせんべいが、1箱に8まいずつ入って  
います。5箱買うと、代金はいくらになりますか。1つの  
式に表して、答えをもとめましょう。 式5、答え5【10点】

(式)  ~~$105 \times 8 = 840$~~  円

A まい

答え ~~840~~ 円



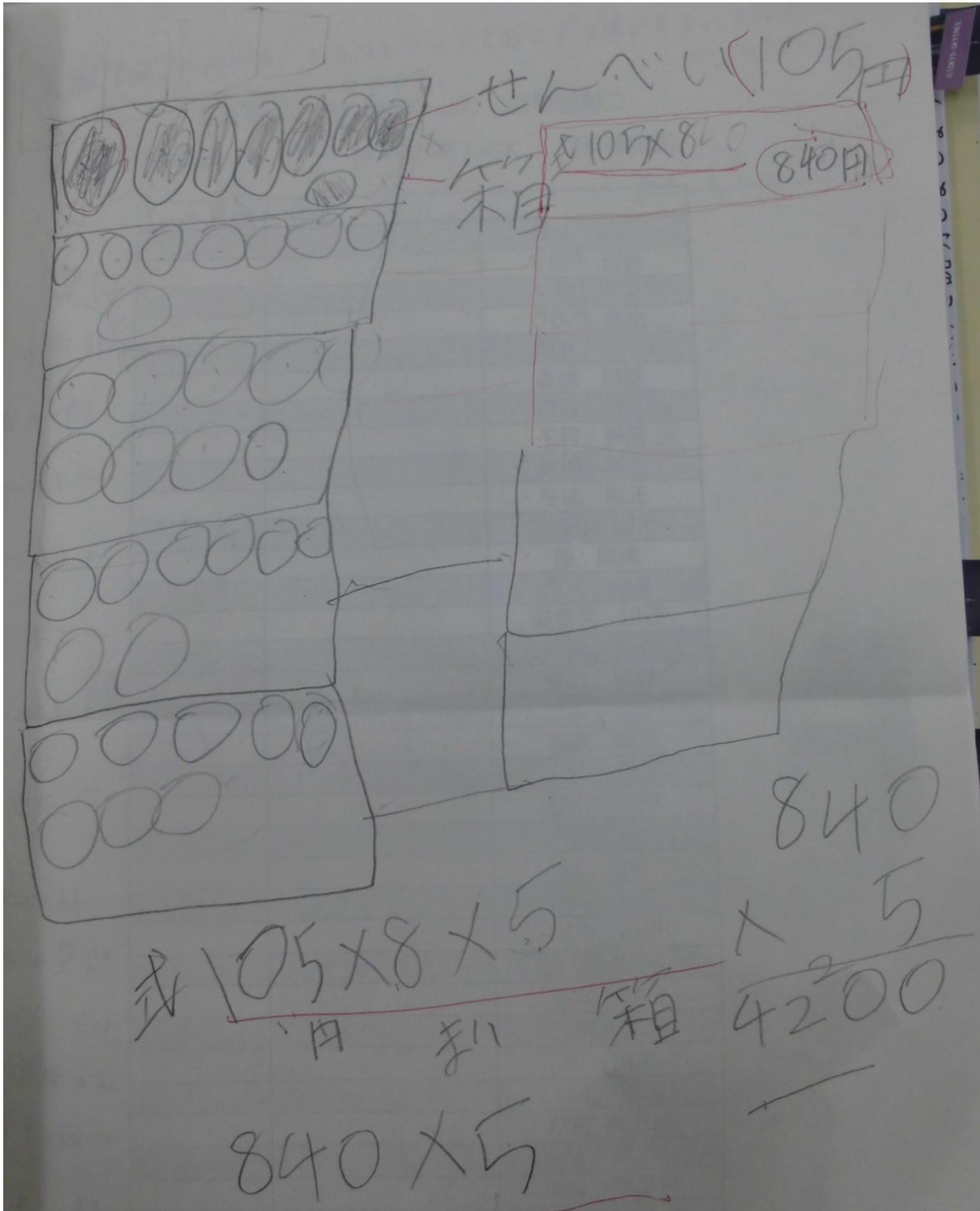
~~5箱の時  
おだん~~

~~$105 \times 5$~~

~~$40 \times 5$~~

~~$105 \times 8$~~

②対話を繰り返して、文章に書かれている場面を絵に描かせた。



③答えを導き出すことができた。

